



議会だより そでがうら

市議会



No.203

6月定例会

令和7年8月1日

発行：千葉県袖ヶ浦市議会

# 議会だよりのひろば

特集 座談会 「ZERO FIGHTERS と市議会」



CONTENTS

2～3 座談会 みんなのひろば

4～5 所管事務調査 **Pick up**

6 陳情、意見書、表彰

7～13 13人が市政を問う 一般質問

14～15 委員会レポート、久慈市議会表敬訪問

16 議決結果、9月定例会の予定

# ゼロ ファイターズ ZERO FIGHTERS

## と 市議会

聞いて 伝える

みんなの  
ひろば

### ZERO FIGHTERS



Little ZERO FIGHTERS  
葛田 圭亮さん  
保護者代表



代表  
伊是名 隼人さん

#### ZERO FIGHTERSとは…

2015年3月創立。社会人アメリカンフットボール界のトップリーグ、通称「Xリーグ」へ加盟を申請し、3月末の社員総会で承認されました。Xリーグ選手及びスタッフ経験者らが、「アメフトを通じて日本に元気をあたえよう」という純粋な思いから立ち上がりました。

アメフトはもちろん、スポーツの発展となる活動から子どもたちの教育につながる支援まで活動を広げ、どのチームも持たないスタイルと新しい付加価値を取り入れ、なにごとにも挑戦するチームです。

## 伝統と革新性が 共生するチームを目指して



### 袖ヶ浦市とのホームタウン パートナーシップ協定締結 のきっかけは？

◆代宿にサッカーフィールドが作られるというところがそもそものきっかけですね。

◆代宿のフィールド完成を機に、フットボールを中心に様々な体験を提供したいと思いました。そこから「ZEROフェス」というスポーツ体験イベントを通じて徐々に根付かせることができ2年前に協定締結に至りました。



### 協定締結から2年ほど経過 しての感触について

◆感触は強く感じています。アメフトの試合観戦やボランティア活動を含めて、「ZERO FIGHTERSの名前を聞いたことがある」という声を少しずつ市民の方々からいただくようになってきました。

◆アメフトを観たことがない人や、そもそもなぜアメフトなのか疑問に



思う方もいると思いますが、3年経って「試合を観てみたい」と言ってくださる方や、「ZEROフェスの申し込み欄に「今年も応援します」と書かれる方も増えてきました。感謝の気持ちを忘れずにがんばりたいと思います。



### 試合観戦にあたり点数の入り方などルールの周知方法について

◆ルールがわかりにくいという声を聞くので、試合中の場内放送を工夫するなど、より分かりやすく伝える解説方法に取り組んでいます。



### チームの理念や地域に根付くための努力などはありますか？

◆袖ヶ浦市の一員としてつながりを大切にしたいという思いがあります。アメフトを知ってもらうには、まずは謙虚な姿勢で誠意を持って接することが重要だと考えています。

◆選手たちの間にも「なぜ地域なの

ZEROフェス開催!



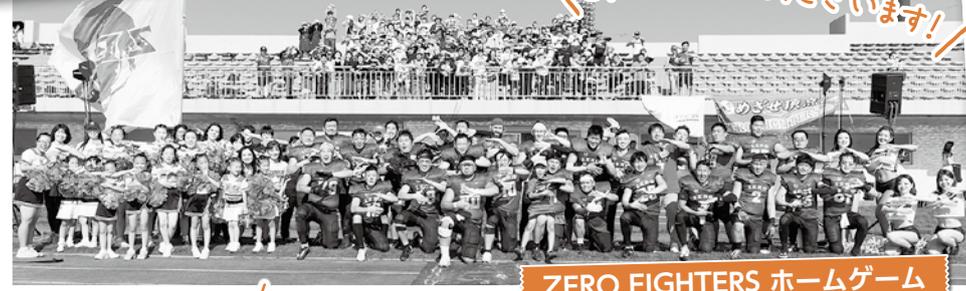
フィールドを駆け抜けろ!



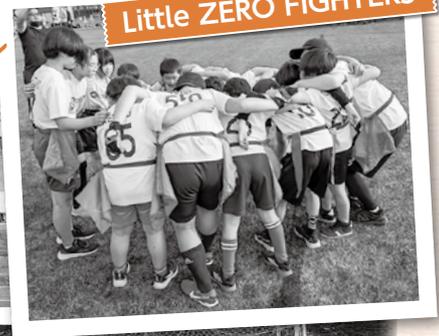
ご声援ありがとうございます!



Little ZERO FIGHTERS



ZERO FIGHTERS ホームゲーム



地域への浸透にかけ  
想いを伺いました



練習風景

タックルの代わりに  
腰のフラッグを取る  
非接触ルール

※写真掲載の許可について確認済みです。



フラッグフットボールの  
ルールは?

- ◆アメフトとほぼ同じです。ボールは楕円形で、小学生用のサイズは通常の約3分の1ほどです。
- ◆アメフトが起源ですが、安全性を重視したスポーツです。腰からフラッグを下げ、非接触が基本。フラッグを取ることでタックルの代わりとなり、プレーが止まります。試合は5対5で選手交代は自由です。
- ◆面白いのは、運動が苦手な子の方がヒーローになれることです。足の



Xリーグの試合は年間どの  
くらいあるのでしょうか?

- ◆年間で10試合ほどです。メインは秋のリーグ戦で、9月から12月末までの間に6試合あります。ホームゲーム戦は9月27日(土)と11月3日(祝日)を予定しています。

か「なぜ普及させるのか」という声もありました。でも、スポーツには横の広がりを作り、つながりを深めることができるのです。「強さの追求」と「地域密着」の両輪で進むことを伝え続け、今一つにかみ合い始めたと感じています。



議会だよりを読んだことは  
ありますか?

- ◆私は結構読んでいます。
- ◆事務所を横田に移転したこともあり、読んだことがあります。

速い子たちがおとりになり、そこへ運動が苦手な子が走っていくとノーマークとなり、他の子たちでその子を守る戦術があります。是非一度Little ZERO FIGHTERSを見に来てください。

やうじゅ...

ZERO FIGHTERSの皆さんは、ZEROフェスでのアメリカンフットボールの普及やフラッグフットボールクラブを通じて、地域に根付き、シビックプライドの広がり貢献しています。ZEROフェスリトルゼロ、そしてZERO FIGHTERSの試合に足を運び、活躍を応援していただけたら嬉しいです。(座談会担当:稲毛、山本)

お問い合わせ

ZERO FIGHTERS

☎060-4624-6849

(伊是名 隼人さん)

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。



# 所管事務調査

市民の皆さんの暮らしに関わる課題を、より深く理解し、改善につなげていくために、議会では「所管事務調査」を行っています。

これは、常任委員会が自ら担当する分野について調査を進め、市長などに向けて提案を行うものです。

## 総合計画の概要

### 1. 位置付けと構成

総合計画は、今後のまちづくりの

#### 基本構想

市のまちづくりに係る構想であって、市が目指す将来の姿を示すものです。

#### 基本計画

基本構想を実現するための基本的な計画で、まちづくりに係る施策の方向性や目標を体系的に明らかにするものです。

#### 実施計画

基本計画に定める施策を実現するための計画で、個別の事業における年次ごとの取組内容を明らかにするものです。

## 総務企画常任委員会

## 袖ヶ浦市総合計画後期基本計画策定に係る検討状況について

### 主な質疑

**Q** 市が目指す将来の姿のスローガンの作成過程について伺う。

**A** 基本構想の策定時に市民からの意見聴取としてアンケート調査やワークショップ等を行い、抽出されたものを元にして作成いたしました。

**Q** まちづくりアンケートの回収率の低さについて伺う。

**A** まちづくりアンケートの回収率は32・75%でした。総合計画ですと、市政全般についてということ調査項目が多くなってしまい、回答者にとっては負担になっていることが考えられます。

**Q** 自治会や農作業場等に出向き、現場の市民の実感に合ったものを作っていくことが大事なのではないか。

**A** 分野ごとのワークショップだけではなく、担当部署から課題や方向性の抽出等を行っており、住民等の声も反映できていると考えています。

### 2. 計画期間

総合計画における「基本構想」は、今後の社会経済情勢の変化を見据えながら長期的視点に立ったまちづくりを行うため、令和2年度から13年度までの12年間を計画期間としています。「基本計画」は、「基本構想」の計画期間である12年間を前期と後期に分け、それぞれ6年間の計画期間としています。今般策定する後期基本計画の計画期間は、令和8年度から令和13年度とし、令和6～7年度に策定作業を行っています。「実施計画」は、予算編成の指針として適切に管理できる期間として3年間を計画期間とするともに、必要に応じて見直しを行うものとなります。

## 百目木どろんこ保育園の概要

運営主体	社会福祉法人どろんこ会 (東京都渋谷区)
施設の種類	幼保連携型認定こども園
保育所所在地	袖ヶ浦市百目木200番地
開園日	令和7年4月1日
開所時間	午前7時から午後8時 (延長保育あり)
認可定員	計120人 (保育75人、教育45人)
その他のサービス	延長保育、一時預かり保育、 子育て支援事業、児童発達支援事業

## 百目木どろんこ保育園の外観



や特別な配慮を必要とする幼児に対する柔軟な対応が期待されます。また、事業者が国・県・市の補助を受けながら、施設の整備や運営をすることにより、持続的な教育・保育環境の確保につながります。

◆平川地区幼児教育・保育環境向上についての考え方  
人口減少や少子高齢化、地域の活性化が課題となっている平川地区における幼児教育・保育は、市立幼稚園及び保育所が提供してきましたが、多様化・複雑化するニーズへの対応や、時代の変化に対応する取組が求められています。

平川地区における魅力ある子育て環境の構築を目指すため、民間活力の持つ幼児教育・保育のノウハウを導入することで、様々な課題に迅速かつ柔軟な対応を図るとともに、地域の持つ強みを活かした特色ある取組を展開することと、令和4年9月に平川地区幼児教育・保育施設整備計画を策定しました。

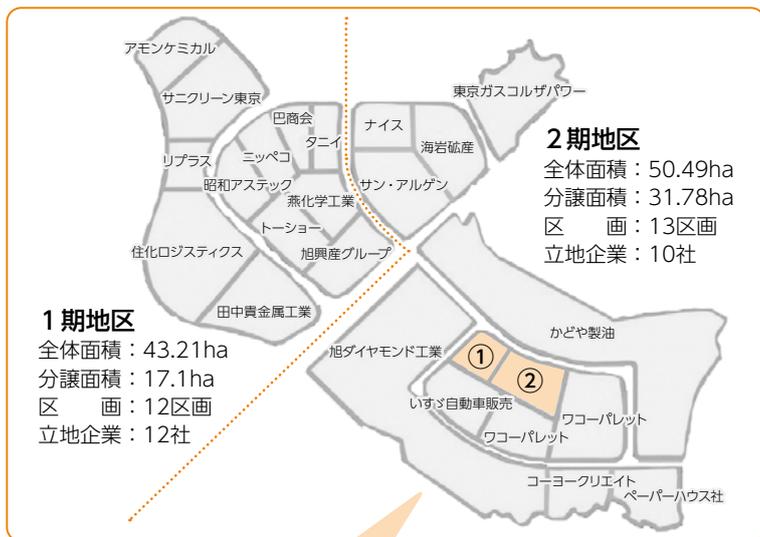
◆民間活力の導入  
計画に基づいて、認定こども園の整備運営事業者を公募により選定し、本年4月、百目木公園内に「百目木どろんこ保育園」が開園しました。

(整備運営の効果)  
子育て支援センターや児童発達支援事業所が併設され、保護者の多様なニーズ

# 文教福祉常任委員会 平川地区幼児教育・保育施設整備計画と 百目木どろんこ保育園の概要について



## ◆袖ヶ浦椎の森工業団地立地企業の概要 (令和7年6月1日時点)



建設経済常任委員会では、椎の森工業団地の操業状況をより正確に把握することを目的に、全体の概要確認及びかどや製油株式会社との現地調査を実施しました。



現地調査の様子

分譲区画①：椎の森385番地45  
(7,069.27㎡)

分譲区画②：椎の森385番地47  
(11,038.40㎡)

※椎の森385番地45、385番地47の2区画については、立地企業が操業できなかったため、千葉県が令和5年度に買戻しを行い、現在、企業誘致を進めています。



現地調査の様子

# 建設経済常任委員会 椎の森工業団地の操業状況について

### 陳情

## 教育予算に関する陳情

「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会」から提出された2件の陳情について、全員賛成で採択され、国へ意見書が提出されました。

- ◆ 「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書
- ◆ 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書



### 採択

### 発議案

## 訪問介護基本報酬引き下げによる影響への対策を早急に求める意見書について

### 原案可決

議員より、国に対し訪問介護基本報酬引き下げによる影響への対策を早急に求める意見書について発議案が提出され、全員賛成で原案可決しました。

### 意見書

厚生労働省は、令和6年4月から訪問介護の基本報酬を引き下げました。その理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことを挙げています。

1. 自治体の財政負担や被保険者の保険料・利用料負担が過重とならないよう国庫負担割合を引き上げること。
2. 都市部の有利な条件の事業者をモデルとするのではなく、地方における小規模事業者の実情を十分に考慮し、介護保険制度の安定性・持続可能性を高め、全ての地域で全ての世代にとって安心できる制度を早急に再構築すること。
3. 人材確保は喫緊の課題であり、更なる介護サービスの質の向上を図るため、処遇改善や生産性の向上等、即効性のある抜本的な介護人材確保対策について検討を進めること。

## 【永年在職議員表彰】

永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により、全国市議会議長会から表彰されました。



◆議員20年以上 塚本 幸子 議員

よう強く要請しました。

強いることから小規模事業者が加算を取得し補填することは困難であります。よって国及び政府に対し、多様な地域の実情にあった地域包括ケアシステムの深化、持続可能な介護保険制度の実現に向け、以下の措置を講じられるよう強く要請しました。



緒方 妙子 議員

公明党



質問項目

- 給食について
- 有害ごみ、小型家電等への対応について

# Q 給食が足りないとの声を伺う、現状は

A 基準を満たす量を提供しています

## 学校給食について

- Q 物価高騰が続くなか、給食への影響が心配です。学校給食の対応は。
- A 値上げ分は市で負担。質、量を維持し、栄養を考え、提供しています。
- Q 高騰している米、パン等の仕入れ値の状況と必要量の確保について
- A 米は3割強、パンも値上がりしています。必要量は確保しています。
- Q 献立に無理はないか。以前と同様、同等のメニューが提供されているか。
- A 食料費は高騰していますが、同等のメニューを提供しています。

## 有害ごみ・小型家電等への対応

- Q ご飯、パン、おかずの個数、サイズ、量などに変わりはないか。
- A 以前と分量に変わりはありません。給食が足りないという、現状は。
- A 基準を満たす量を提供しています。
- Q 公立保育所の給食と副食
- A 副食費と給食費の値上げについて
- A 副食費と給食費の値上げについて
- Q 3歳児への主食提供の検討経緯と現状、保護者負担額の見込みは。
- A 調査結果を参考に課題を整理検討し、負担額6千円程と想定します。

- Q 回収・処理時の火災事故について
- A 3年間で4件発生しています。
- Q 電池内蔵製品の捨て方の周知は。
- A ガイドブック等で周知、次回の広報ごみ減量特集号に掲載予定です。
- Q 環境省が通知したリチウム蓄電池等の新たな回収方針への対応は。
- A 適正な処分方法を調査し、早期に市の回収体制構築に取り組みます。
- Q 回収した小型家電の分別処理を福祉作業所へ委託し、支援しないか。
- A 対応可能な施設から申し出があった場合は引き渡しを検討します。

# 13人が市政を問う

## 一般質問

### 一般質問とは、

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長などに考えを聞くものです。議員本人がQ & Aを要約し作成した原稿を質問者順に掲載しています。

未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中ですのでご覧ください。会議録は9月頃に掲載予定です。

各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録は市議会ホームページのほか、中央図書館、長浦おかのうえ図書館でも閲覧できます。

会議録はこちらから▶

袖ヶ浦市議会

検索





きむら よしこ  
**木村 淑子** 議員

公明党



**質問項目**

- 市民のための移動支援について
- 通学路の環境整備について
- 市民の健康を守る取組について



すず き しゅうと  
**鈴木 高人** 議員

啓政会



**質問項目**

- 一般廃棄物処理基本計画、災害廃棄物処理計画及び再生資源物管理の現状と課題について

**Q** **チョイソコがうらの利便性向上に向けた取組は**

**A** 7月から乗り継ぎを廃止、10月から4台体制とし、改善を図ります

- 移動支援の取組は**
- Q** チョイソコがうらについて、「予約が取りづらい」「乗り換えが不便」等のご意見がある。取組を伺う。
- A** 7月から乗り継ぎ廃止、10月から1台増車し、4台体制で改善します。
- Q** 停留所の移動や増設は可能か。
- A** ご意見を踏まえ、随時行っています。一定の基準を設けています。
- Q** 移動支援に取り組み住民団体を増やすべき。取組を伺う。
- A** 昨年、市と社会福祉協議会の協働による研修を2回開催し、1団体増

- 通学路の事故防止対策を**
- Q** 根形小中学校の通学路の集水桝（たまりばね）について、転落の危険があるため蓋を設置できないか。
- A** 地元区からも要望があり、関係部署や地元区と協議を進めています。
- Q** 県道袖ヶ浦姉崎停車場線は法面からの木や雑草で歩道が狭くなり危険。早めの伐採を県へ働きかけないか。
- A** 本年4月に対応を依頼しています。今後も適切な維持管理を要望します。
- Q** 事故の多い花川橋交差点の信号機

- 乳幼児や高齢者の肺炎を防ぐ**
- Q** ※RSウイルス感染によって引き起こされる呼吸器感染症を防ぐためにRSウイルスワクチン接種が有効。公費助成と市としての取組を伺う。
- A** 任意接種のため公費助成は考えていません。情報提供に努めHPやポスター掲示等を通じ周知を図ります。
- ※RSウイルス…何度も感染と発症を繰り返す。多くは軽い症状。基礎疾患を有する高齢者等において重症肺炎の原因となる。

**Q** **金属スクラップヤードの実効性ある監視強化を**

**A** 安全の確保に向け警察当局と今後も連携体制を構築します

- 一般廃棄物処理基本計画の進捗**
- Q** リサイクル意識や分別行動についての評価は。
- A** アンケート結果では、日頃から3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組を実践されている市民の割合は高い水準と認識しています。
- Q** リサイクル率向上に向けた追加的対策及び見直しの検討は。
- A** プラスチック等新たな資源化対象品目の拡大について取り組んでいきたいと考えています。

- 災害廃棄物処理への備え**
- Q** 災害廃棄物処理計画に基づいた運用確認及び訓練は。
- A** 県主催の研修会等に職員が参加するなど、災害廃棄物対応に関する知識やノウハウの習得に努めています。
- Q** 災害発生時は市単独での対応が困難。その際の連携体制や広域連携は。
- A** 災害時に備え、各関係機関と3つの協定を締結しており、協力支援体制を整備しています。
- Q** 災害廃棄物の仮置場候補地の確保状況及び搬出ルールの周知は。

- ヤードの適正管理によって地域の安全確保**
- Q** 条例運用において継続的な指導体制及び実効性を高める取組は。
- A** 職員がパトロールにより保管状況の確認を行い、条例に基づき措置命令の適用など厳正に対応します。
- Q** クリーンセンターの敷地内に仮置場を設置することとしており、災害の状況等によっては、他の公共施設の敷地の利用も想定しています。正確かつ迅速に分別や仮置場の利用方法等について周知します。



たか はし たい し  
**高橋 大志**議員

清風会



**質問項目**

- 空き家対策事業について
- 防犯対策強化並びに交通安全対策について
- 「お弁当の日」の今後のあり方について



こ じま ひと み  
**小島 仁美**議員

新袖の友



**質問項目**

- 特定外来生物ナガエツルノゲイトウについて
- 袖ヶ浦市の女性が安心して日常生活を送り、出産ができる環境整備について

**Q お弁当の日の廃止を含めた今後の在り方は**

**A** 本年9月を目途に方向性を定めたい

- Q** お弁当の日の廃止を含めた今後の在り方について伺う
- A** お弁当の日という制度は、近隣の市も取り入れている市はありません。
- Q** お弁当の日についての保護者アンケートが実施されたが把握しているか
- A** 詳細については把握していません。
- Q** お弁当の日は廃止し給食センターに任せてはいいかがか
- A** お弁当の日を始めた頃と時代背景が異なり意義が薄れてきているという意見もあります。本年9月に方向

- Q** 防犯対策強化並びに交通安全対策について伺う
- A** 防犯カメラ付自動販売機の導入による防犯強化を検討しないか。
- A** 他の自治体において、民間事業者との協力により防犯対策として導入している事例も確認しているので今後先進地事例などを参考に調査研究を進めていきます。
- Q** 上泉の花川橋交差点で撤去された信号機の再設置をしないか。
- A** 市として事故は引き続き発生して

- Q** 増加する空き家を子育て世代に活用できないか伺う
- A** 魅力的な物件となり得るポテンシャルの高い空き家はあるか。
- A** 287戸の空き家等のうち適正に管理されている物件は130戸です。
- Q** 移住者向け空き家利活用のインセンティブ施策はあるか。
- A** 現時点ではないため先進地事例を参考に調査研究していきます。

**Q 市内でのナガエツルノゲイトウ※による被害状況等は**

**A** 横田地先で確認されその後確認されず被害報告もなし

- Q** 特定外来生物ナガエツルノゲイトウについて
- A** R6年の県の調査では確認されたが市調査では確認されなかったとの事。その際の詳しい調査結果は。
- A** 本年4月下旬、県から報告を受けている小櫃川の河川内、木柵上部の現地確認を行ったが目視での確認はできなかつたと報告を受けています。具体的な場所は外来生物の拡散を防ぐ観点から公開できません。
- Q** ナガエツルノゲイトウと似た見た目の植物を見つけた場合の対応方法

- Q** 袖ヶ浦市に産婦人科がないことについて市の考え
- A** 袖ヶ浦市総合計画第2期実施計画に「市内へ産婦人科の誘致の検討を
- A** の周知を含めた啓発活動とは。
- A** 既に水稻農家に対し注意喚起の文書を発送しています。見た目では間違いやすい他の外来生物の情報提供と併せて市ホームページへの掲載や行政機関での掲示等をし、ナガエツルノゲイトウと似た植物を見つけた場合、躊躇することなく市への連絡相談をお願いしていきます。

- A** 進める」とあるがいかがか。
- A** 君津医療圏域における産婦人科医療の状況を踏まえると現行の医療体制を維持し、地域医療の安定化を図る事が重要と考えています。君津木更津医師会産婦人科部会と協議を行ってきた中で現状は君津医療圏域における産婦人科機能は充足され、少子化に伴う経営への影響や全国的な産婦人科医の不足といった現状を踏まえ、市が積極的に誘致を行う事は難しい。引き続き国や県に対し既存医療機関への財政支援や医師確保対策強化等働きかけを行っていきます。

※ナガエツルノゲイトウ…主に水辺で生息するヒユ科の多年草。



わた なべ  
**渡辺あゆみ** 議員

無会派の会



**質問項目**

- 子どもたちの命と尊厳を守るための支援・居場所づくりについて



さ とう ひろ ふみ  
**佐藤 博文** 議員

啓政会



**質問項目**

- 災害に強いまちづくりについて
- アクアライン通行料金の時間帯別割引を活用した観光誘導策について

**Q DV相談件数の大幅な増加の背景は**

**A** 精神的・経済的DVへの理解が進み、声なき声の表面化が一因

- Q** 児童虐待・DV相談件数の推移と
- A** 児童虐待・DV相談件数の推移は、精神的・経済的DVへの理解が進み、声なき声の表面化が一因です。近年の猛暑を避けるためにも、子どもだけでなく過ごせる屋内施設を求め、施設の活用も含めて居場所づくりを検討していきたいと考えています。
- Q** 子どもたちの命と尊厳を守るための支援・居場所づくり
- A** 学校行事等で配慮が必要な子が外部の人により撮影・投稿される懸念と注意喚起のあり方は、家庭の事情により、居場所を秘匿にすることで安全を確保しているケースもあることから、写真の撮影やSNS等への投稿について、特段の配慮が必要なものと認識しており、たよりや会場アナウンスで注意喚起を行っています。

**Q 市公式LINE等の通信到達性調査実施の有無は**

**A** 大規模災害時通信環境を再現しての比較調査は困難と認識しています

- Q** 災害に強いまちづくりについて
- A** 災害時、電話回線は混雑し易く、SNSは復旧と通信が比較的早いとされるが、同じ情報を重複して発信している市公式LINEを主軸化し、生活安全メール廃止の検討をしないか。
- Q** アクアライン通行料金時間帯別割引を活用した観光誘導策
- A** 携帯メールは回線混雑により、情報が遅延する可能性があること認識していますが、防災無線・緊急速報等も併用して、情報伝達手段の多様化を図る必要があると考えています。

- Q** DV相談件数の大幅な増加をどのように分析しているか。
- A** DV相談件数の大幅な増加をどのように分析しているか。身体的暴力が増えたというよりは、これまでDVと認識されにくかった、支援体制の整備、0歳児見守り「オムツ定期便」の導入は、DV相談件数の推移につきましては、R4年度が125件、R5年度が72件、R6年度が168件となっています。妊婦のための支援給付事業等で経済的支援と子育て期の見守り支援を一体的に実施しており、現時点でオムツ定期便を実施する考えはございません。

- Q** どの様に対応するのか。
- A** 災害トイレ用処理キットを備蓄し、体制を整えるとともに、家庭でのトイレ備蓄について呼びかけています。
- Q** SNSや観光サイトにおけるデジタル発信の効果と今後の課題は。
- A** 災害用簡易トイレの家庭備蓄について、購入費用の一部を助成・補助する制度を創設する考えはないか。
- A** 簡易トイレ等の備蓄に対する購入費用補助創設の考えはありませんが、広報や啓発活動により、家庭での簡易トイレ備蓄促進を進めていきます。

- Q** 子どもの年齢や家庭の状況などにより、既存の施設だけでは十分にカバーしきれない家庭に向けて、新たな居場所づくりを進めないか。
- A** 子どもの年齢や家庭の状況などにより、既存の施設だけでは十分にカバーしきれない家庭に向けて、新たな居場所づくりを進めないか。近年の猛暑を避けるためにも、子どもだけでなく過ごせる屋内施設を求め、施設の活用も含めて居場所づくりを検討していきたいと考えています。

- Q** これまで袖ヶ浦市観光協会と、観光客の滞在時間延長に向け、具体的にどの様な検討がされてきたのか。
- A** これまで袖ヶ浦市観光協会と、観光客の滞在時間延長に向け、具体的にどの様な検討がされてきたのか。協会会員の皆様と意見交換を重ね、通行料金割引時間帯まで滞在いただけるよう、夜間イベント開催やキャンペーンを企画・実施してきました。
- Q** デジタル発信はタイムリーな発信と反応の把握に強みがありますが、現状、効果的な活用が十分行えていないため、調査・研究していきます。
- A** デジタル発信はタイムリーな発信と反応の把握に強みがありますが、現状、効果的な活用が十分行えていないため、調査・研究していきます。



## と なみ ひさ こ 久子 議員

日本共産党  
袖ヶ浦市議団



### 質問項目

- 「子どもの権利条約」と「こども計画」策定について
- 市職員の職場環境に関する市長の認識と改善策について
- 市民協働と南庁舎の活用について



## やま もと こう た ろう 山本浩太郎 議員

無会派の会



### 質問項目

- 森林整備について
- チョイソコがうらの利便性向上について

## Q こども計画は子どもの権利を知らせ意見の反映を

A しっかりと子ども達の意見を聴いていきたいと思えます

高ストレスの市職員が70人  
市長は危機感持って対応を  
昨年度退職者18名休職者11名総務

- Q 子どもの意見を聴取するアンケートを子どもの権利を知ってもらうためにも全児童生徒に実施しないか。
- A 子どもの権利の周知は重要と認識していますが、策定過程で全児童生徒へのアンケートは行いません。
- Q 計画の委託は職員本来の能力が発揮できず達成感を得られないのでは。
- A 委託であっても職員が考え取り組むため心配ありません。

真に市民に開かれた南庁舎に

- Q 省調査結果と同様の傾向との答弁。市長の認識はそれだけか。現状を踏まえ、会計年度職員を実績等考慮し正職員へ採用しないか。また無記名全職員アンケートを実施し、職員の思いを掴み職場の改善をしないか。
- A 職員採用については先進自治体を参考に検討します。また、組織が抱える課題を洗い出し職員の意欲向上へエンゲージメント調査アンケートを実施し職場環境の充実に努めたいと考えています。

- Q 市民協働会議室の登録件数と利用状況は。
- A 登録団体は29団体、市民活動団体の利用は3カ月で33日間、延べ47団体617人の利用です。
- Q 市民ギャラリーは利用目的の制限をやめ市民協働推進課で相談・申請も受けるようにしないか。
- A 市民や市民団体から意見もあり、運用方針の見直しを行い、芸術品に限らず幅広い内容の展示を可能にしました。より使いやすい場になるよう相談や申請の手続きを集約することも視野に入れ検討を進めています。

## Q 森林整備について市内の人工林の面積と整備状況は

A 市内人工林面積は約455haで昨年は0.76ha植替えしました

- Q 市が取り組んでいる森林整備
- A 現在植替えを行っている品種は。道路・電線等のインフラ設備に近接する箇所には中低木であるイロハモミジやヤマザクラを、それ以外の箇所では少花粉品種のヒノキ・スギ等を植栽しています。
- Q 今後伐採量を増やしていく予定は。
- A 人工林の全てを整備する計画はなく、風の被害などの倒木の状況や、インフラ施設等への影響などを踏まえて、優先的に整備が必要な箇所を整備していく予定であり、現状伐採

- 量を増やしていく予定はありません。
- Q チョイソコがうらの利便性、通勤通学にも使えたら便利
- A 運行時間外の需要はあるのか。
- Q 朝夕の時間帯や休日の運行についてご要望が寄せられました。このため、R6年1月から運行時間等を拡大し、利便性向上に努めています。
- Q 18歳未満の学生や免許を持っていない人に向けて朝の通勤・通学のために9時よりも早く運行をしないか。
- A 交通事業者から既存の公共交通への影響を懸念する意見があり、現時

- 点で運行時間の変更は考えていませんが、引き続き、利用者の意見をはじめ、利用状況や交通事業者の意見も確認しながら、実証を続けていきます。
- Q 日中の時間はバス会社もチョイソコに参入して経費を削減できないか。
- A バス事業者が日中の経費削減を目的として、チョイソコがうらに参入するかは不明であり、今後、チョイソコがうらの運行体制の見直しが必要となった場合には、バス事業者を含めて交通事業者の考えを伺いながら検討していきます。



# 伊東 章良 議員

清風会



## 質問項目

- 袖ヶ浦市の教育行政方針について
- 視覚に困難を抱える方への市の支援について



# 篠崎 典之 議員

日本共産党  
袖ヶ浦市議団



## 質問項目

- 地域農業支援施策および環境保全行政について

## Q 「読書のまち袖ヶ浦」教育を今後どう進めていくか

**A** さらに本が好きな児童生徒を育成していきます

### Q

人材の確保対応をどうしていくか。

5・5時間勤務としています。司書の声「勤務時間が足りない」。

### A

他市も配置が進んでいるが、配置日数や勤務時間等の違いがあります。本市は全校へ配置し、週4日・1日

### Q

本市と近隣市の学校司書の配置や雇用条件の違いは。

### A

聞かせや授業連携を通じ、読書活動を支える貴重な存在です。

### Q

学校司書の役割と位置づけは。

## 学校司書について

### A

人材確保は課題。勤務状況や雇用条件を精査していきます。

## 部活動の地域移行について

### Q

地域移行への取組状況と課題は。

### A

野球・陸上・剣道の三種目を実施。

### Q

市外への子ども・指導者流出を防ぐための支援体制は。

### A

地域クラブ設立を希望する団体があれば、支援内容を確認し、部活動地域移行協議会で支援を協議します。

### Q

人材バンクの活用状況は。

### A

千葉県「ちばクラサポ」を活用し、

### Q

大竹地区では、伐採届のみの土地に昼夜問わず再生土が埋立され崩落の危険がある。林地区木質チップ堆積火災は鎮火に43日、費用約535万円を要した。パトロールでは限界があり、実効性が疑問だ。市民の安全を守るため、市独自の残土条例を制定し毅然と対応すべきではないか。

### A

パトロールによる早期発見と監視を継続します。危険な事案が確認された場合は、県と市それぞれの所掌事務に依り、関係機関と連携して適切に対応します。市職員の権限は県へ連絡することまでです。

## Q 市長として政府に農家所得補償の増を求めないか

**A** 国全体で需給バランスを調えることが重要と考えます

### Q

## 疲弊する小規模・家族農家は有効な農業支援策示さず

後継者不足と資材高騰で、市内小規模・家族農家から「断末魔の叫び」が聞こえる。イベント頼みの支援策では、農業従事者減少に歯止めはかからない。「オーガニック農業推進」など市独自の明確な農業ビジョンを打ち出すべきではないか。

### A

直売所での販路確保やPR活動を通じ、農業者のやりがい支援します。スマート農業の導入や新規就農者への支援も行っています。主食用

### Q

米の増産支援は県道の動向を注視しており、現時点で市独自の支援策を行う考えはありません。

### A

所得補償さえ増えれば農業を続けられるとの声を聞く。市長として政府等に農家所得補償増を求めないか。米価高騰で農家の収入も上がっています。一方で消費者の皆さんは、価格高騰は大きな影響があり、国全体で需給バランスを調えることが重要と考えます。

## 再生土・木質チップ堆積の危険 条例制定に市は否定的



さ そう たけし  
**笹生 猛**議員

創袖クラブ



**質問項目**

●袖ヶ浦市総合計画後期基本計画策定における人事異動と業務継承について



ね もと しゅん すけ  
**根本 駿輔**議員

清風会



**質問項目**

●こども計画について

**Q** 市長答弁の大幅遅れ、人事異動の弊害か

**A** 考え方を変えたということは一切ありません

**Q** 大規模異動で計画策定できるか  
**A** 後期基本計画が策定される特別年度、人事で特別な考え方はあったか。  
**Q** 特別考慮はありません。業務に当たって組織全体を見据えた人事異動を行っています。  
**Q** 人事異動で部や課でトップ2人が動いたというのが目立った。業務の引継ぎは実際どのように行ったか。  
**A** 引継ぎを中心に各業務で使っているマニュアル等があれば、情報共有をして原則として年度内に引継ぎを行っています。

**Q** 具体的に市民の方から「自治会を担当する市民協働の分野に関しての人事異動」で意見があった。この分野での知見や経験はどのように引継ぎを行い、共有は十分にできているか。  
**A** 組織で仕事をしていますので、不明点等があれば確認を行います。また、組織全体として進行管理の制度や幹部職員等の政策調整会議で審議しながら進めていく体制を取っています。  
**Q** 自治会の問題、ここ数年問題は共有されているが、新たな方向性が見えてこなかった。このような状況で

**A** 本当に計画策定はできるのか。  
**A** 共通認識を図り、特に人事異動等の影響がないようにしています。  
**Q** 市長答弁が来るまで10日以上待たされたのは人事の弊害か  
**A** 今回一般質問の通告が5月30日。連絡がきたのが6月10日。この業界にいて18年、こんなに遅かったことというのはない。大規模人事の弊害ではないか。  
**A** 考え方を変えたということは一切ありません。このぐらいの期間はどうしても必要になってしまいます。

**Q** こども計画、こどもや子育て当事者意見どう聞く

**A** 小5・中2のほか高校生・大学生や若者世代などに聞いていきます

**Q** こども・若者の意見を市政に  
**Q** 今年度は「こども計画」の策定予定があり、こども・若者が幸福な生活を送る社会の実現が期待される。策定にあたり、こどもや子育て当事者等の意見をどう聞いていくのか。  
**A** 小学5年生・中学2年生の本人と保護者を対象にした全数調査に加え、15歳から39歳までの若者世代、一般市民の方それぞれ千人へのアンケートを実施します。また、高校生や大学生を中心にワークショップを行うほか、子ども・子育て支援等の関係

団体へヒアリング調査を行い、その対象者以外に対しても、意見をいただける機会を検討します。  
**Q** 未就学児等の保護者が調査対象になっていないが、未就学児のひとり親家庭等は貧困に陥りやすい。貧困対策の目的もあるならば、未就学児等の保護者にも意見聴取すべきでは。  
**A** 予定はありませんが、ひとり親家庭は経済的困難を抱える可能性が多いと考えるため、児童扶養手当受給者を対象に調査実施を検討します。  
**Q** 不登校でも学校の課外活動には参加しているこどももいる。そうし

ただこどもと信頼を築けている団体と連携した調査、聞き方をしないか。  
**A** 将来的には団体の協力を得ながら、活動することもその意見聴取にも務めたいと考えます。  
**Q** 先行自治体の策定スケジュールと比べて短期だが、期間が不十分では。  
**A** 既存の子育て応援プランを活かしつつ子ども・若者育成支援や貧困対策を加える形にすることで、他自治体より作業量の縮減が可能と考えています。成果物がおざなりなものに見られない、よりよい計画になるよう務めます。

# 委員会レポート

袖ヶ浦市議会では、他の自治体で取り組まれている先進事例について、調査・研究する行政視察を実施しています。5月に実施した視察について報告します。

## 総務企画常任委員会

### オガールプロジェクトと民間活力導入に向けた取組について

岩手県紫波町・岩手県釜石市

紫波町は、長年眠っていたJR紫波中央駅前の町有地10・7haを中心とした都市整備を図るため、町民や民間の意見を伺い、平成21年3月議会を経て紫波町公民連携基本計画を策定しました。この基本計画に基づき、21年度から始まった公民連携による紫波中央駅前都市整備事業が「オガールプロジェクト」です。このプロジェクトの特徴は、民間のアイデアを用いて整備することによって、町の中心部が賑わう仕組み、そしてそこから町全体に経済活動が波及する仕組みをつくり、1000年先を見据え、持続的に発展する町を目指しています。



紫波町での視察の様子



釜石市での視察の様子

釜石市では、市の復興スタジアムで行われたサウンドイング調査を視察し、民間委託の実情と課題を学びました。2社が応募するも採算面で折り合わず、市直営継続が決定しました。袖ヶ浦市でも同様の調査を実施しており、今後の公共施設活用に向けて収益性や実態把握の重要性を再認識しました。

## 文教福祉常任委員会

### 地域密着型施策による中学校部活動地域移行と子育て支援強化の取組

富山県南砺市・富山県富山市

南砺市では中学校部活動の拠点校化と地域移行を推進し、各種目ごとに「拠点校型クラブ」や「地域型クラブ」を設立しました。これにより生徒は多様な活動を選べ、指導者間の連携強化が進み、教員の負担軽減と働き方改革にも寄与しています。さらに校



南砺市での視察の様子



富山市での視察の様子

区外通学費用の支給や指導者研修の実施など、先進的な取組が行われていました。富山市では少子化・人口減少に対応するため、平成29年にこども家庭部を新設し支援体制を強化しました。ひとり親家庭への学習支援や養育費確保、発達支援、産後ケアなど多岐にわたる事業を展開し、他部局や関係機関と連携を重視。これにより切れ目のない支援体制が構築され、地域全体での子育て支援が行われています。両市ではそれぞれの課題に対して地域の特色を活かし、未来を見据えた施策を実施していました。

# 建設経済常任委員会

## 新規就農者支援と水素を活用した

## カーボンニュートラルの取組

山口県防府市・山口県周南市

防府市は、平成26年より新規就農者への支援事業として、就農相談から就農計画作成、就農技術習得研修、農地の確保斡旋など一気通貫の支援体制を構築し、月1回の定例会議で情報共有を図るなど手厚い支援を展開されています。就農希望



防府市での視察の様子

者に向けてHPで発信をし、月平均1,500アクセスの実績があり、就農相談は年40件弱、就農への覚悟とリスクを十分認識してもらい、現状は農業法人等で資金を貯めて独立自営就農への移行を目指す相談が増えています。袖ヶ浦市としても、就農者の高齢化や担い手不足が課題であり、県やJAとの連携や情報発信の



周南市での視察の様子

の活用、水素学習室やマシンガによる水素パンフレットなど啓発を行うも、水素取扱いのコスト面から社会実装には至っていませんが、産官学による「周南市水素利活用協議会」や「周南コンビナート脱炭素推進協議会」にて、水素社会を見据えた水素サプライチェーンや周南から発進する未来のカーボンニュートラル社会

あり方については学ぶ点が多いと感じました。

周南市は、周南コンビナートの特性を生かし副生

される高純度の水素を活用したカーボンニュートラル事業を展開しています。水素ステーションや燃料電池

車の活用、水素学習室やマシンガによる水素パンフレット

など啓発を行うも、水素取扱いのコスト面から社会実装には至っていませんが、産官学による「周南市水素利活用協議会」や「周南コンビナート脱炭素推進協議会」にて、水素社会を見据えた水素サプライチェーン

の取組みを継続されています。袖ヶ浦市も、臨海部の企業との、カーボンニュートラルに向けた意見交換を活性化させることが必要であると認識を深めることができました。

# 久慈市議会表敬訪問



久慈市議会と袖ヶ浦市議会は、平成26年7月23日に両議会の活性化と両地域の更なる発展を願い、友好関係の証として「友好交流協定」を締結しました。

以来、本協定に基づき、災害時の相互支援や、委員会・会派による視察や意見交換を通じ、議会活動をはじめ、観光、教育、文化など多岐にわたる分野において、継続的な交流を重ねてまいりました。

このたび、令和7年4月22日〜23日の2日間にわたり、袖ヶ浦市議会として久慈市を訪



普代水門視察の様子

問し、久慈市議会と遠藤市長、澤里副市長に対して表敬訪問を行い、両市の連携と友好の絆を改めて再確認しました。

また、現地視察として、沿岸部の津波防災や久慈湾内の港湾物流の円滑化を目的とした「久慈港湾口防波堤整備事業」の様子や、久慈市の観光拠点である「小袖海女センター」、東日本大震災から普代村を守った、奇跡の水門とも呼ばれる「普代水門」等を見学し様々な地域づくり・まちづくりへの取組に深い感銘を受けました。

今後も、両議会のさらなる連携強化を図るとともに、友好交流協定のもと、地域間の信頼関係を一層深め、互いの発展に資する取組を推進してまいります。

# 令和7年6月定例会の議決結果

6月定例会において議案9件、陳情2件、発議案2件が審議されました。賛否が分かれた案件は下記のとおりです。

## ◆賛否が分かれた案件◆

○=賛成 ●=反対

議案等	議決結果	付託委員会																					
		山本浩太郎	鈴木高仁	小島大志	高橋有輝	田丸あゆみ	渡辺博文	佐藤章良	伊東淑子	木村茂徳	稲毛榮輔	湯浅駿輔	根本直樹	山原直樹	在国(議長)	緒方久子	励波久子	佐藤麗子	笹生猛司	榎本雅司	塚本幸子	篠崎典之	
国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決 文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	●	○	○	○	○	○	●

◆議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。 ◆議案名中の『袖ヶ浦市』及び、『～について』は省略表示しております。

## ◆全会一致で原案可決・承認・採択された議案等12件◆

詳細は袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

袖ヶ浦市ホームページ <https://www.city.sodegaura.lg.jp/>

議会事務局 ☎0438(62)3450



▲議決結果はこちらから

## 「議会のひろば」より

本会議映像のインターネットライブ中継をしています。ご自宅などのパソコン、スマートフォン、タブレット端末などで本会議の映像がリアルタイムでご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください。

併せて、議案資料等のホームページでの公開もしています。

(録画配信については、会議終了後約1週間で公開します)

傍聴時に音声機器の貸し出しをいたしますので、必要な方は議会事務局までお申し付けください。



録画配信は、議員名・会議日から選べます。「再生」を押すと映像が始まります。



袖ヶ浦市議会 映像

〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1  
TEL 0438-62-3450 FAX 0438-63-5130  
E-mail sode32@city.sodegaura.chiba.jp

## 【9月の定例会】

日	月	火	水	木	金	土
8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22 一般質問 受付	8/23
8/24	8/25 議会運営 委員会	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30
8/31	9/1 本会議 10:00～	2	3	4	5	6
7	8 本会議 (一般質問) 9:30～	9 本会議 (一般質問) 9:30～	10 本会議 (一般質問) 9:30～	11 本会議 (一般質問予備日)	12 総務企画 常任委員会	13
14	15 敬老の日	16 文教福祉 常任委員会	17 建設経済 常任委員会	18	19 決算審査 特別委員会	20
21	22 決算審査 特別委員会	23 秋分の日	24 決算審査 特別委員会 (予備日)	25	26 本会議 10:00～	27

\* 一般質問通告一覧表は8月28日(木)頃、ホームページに掲載する予定です。  
\* 9月定例会の予定は、8月25日(月)に開催される議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは議会事務局(0438-62-3450)へお問い合わせください。  
\* 請願・陳情の受付は8月21日(木)までです。

